

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
確かな学力の向上	<p>学習規律、学習態度の強化育成を図るとともに、授業の工夫改善に努め、90%以上の児童が「わかる」と答える授業を構築実践する。</p> <p>(3.1) (3.4) (3.3)</p>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童及び保護者の約9割以上が肯定的な意見である。しかし、12%も否定的な意見の保護者もいる。</li> <li>○ 個別に指導を要する児童も学級に数多くいることから、今後も指導方法を工夫する必要がある。</li> <li>○ 校内主題研究において、教師一人一人の指導力向上を図り、児童が「分かる」「できる」と実感する授業改善に努めていく。</li> <li>○ 全職員で1人1台のタブレットを活用した教育を推進していく。</li> <li>○ 来年度から始まる高学年教科担任制の在り方の工夫し、専門性の高い教師によるきめ細かい指導方法を充実させていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の自己評価はある面厳しいが、今後につながることに期待する。児童アンケートの「4」の割合を増やす努力がさらに必要である。</li> <li>○ 教師は、常に工夫改善を図り効果的な教育に取り組み高い評価である。児童・保護者にしても一定(90%以上)の自己評価であり学力向上が見られる。</li> <li>○ 授業を参観させていただく機会がほぼなくコメントできなくて申し訳ありません。</li> <li>○ 児童数が多いため、一人一人に合わせた指導が難しいと思いますが、先生方は工夫して授業内容を考えてくださっていることがわかります。子どもと保護者の意見がほぼ同じなので、低い評価がもう少し上がるといいなと思います。</li> <li>○ 児童と保護者の評価に対して、教師の評価「4」が少ない事が気になります。教師が自らの評価で「4」が多くなるように改善していただければ、児童の取組方も変わり、もっと評価「4」も増えると思いました。</li> <li>○ 学習規律、学習態度の強化は中学校においても大切な点ですから、今後も小中連携して取組む必要があると考えます。</li> </ul>	3
	<p>図書館サポーターや家庭と連携しながら読書指導を推進し、児童の読書習慣を育成するとともに、読書目標達成者90%を目指す。</p> <p>(3.4) (3.3) (2.9)</p>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者と児童の認識の違いが大きい。家庭における読書の習慣化を図るために保護者との連携した取組が必要である。</li> <li>○ 年間90冊以上の目標達成に向け、全ての学級で図書室利用の推進とともに、家庭読書を重点指導事項として取り組む必要がある。</li> <li>○ 2学期後半に、保護者や地域の方々による読み聞かせや紙芝居を行うことができた。どの児童も熱心に話を聞くことができ、読書への意欲付けが図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校で読書の時間とか設けているんですか。我が家の孫は家でほとんど読書しません。仕掛けをいろいろしているんですが。</li> <li>○ 読書指導は全般的に実施されているが、学校と家庭の読書については相当の差を感じる。</li> <li>○ 先生方は、コロナ禍での制限もあり読書習慣の育成のための指導は大変だったことと思います。家庭では、ゲーム、テレビ等、子どもたちの興味あるものが多く本を読むのが好きという子ども以外は読書習慣作りは難しいだろうなと感じています。</li> <li>○ 習慣づけの努力をしていることがわかりますが、子どもたちはなぜ読書をしたほうが良いのか理解できていないのではないかと思います。</li> <li>○ 学校の読書に対する取組はすばらしいと思います。水曜日のノーマディアデーもその一つだと思いますが、児童よりも保護者の意識をもう少し高める必要があると感じました。学校の取組は良いと思います。</li> <li>○ 学調の分析結果から読書をする子どもは学力も高い傾向があるとの結果が出ているので、とても良い取組だと考えます。児童全員が年間90冊の目標を達成するとはすごいです。</li> </ul>	

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
豊かな心と社会性の育成	<p>日々の学校生活における基本的な行動様式を徹底指導し、規範意識の高揚を図り、「きまりを守る」と答える児童80%を目指す。</p> <p>(3.2) (3.5) (3.5)</p>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師、保護者と児童の9割以上が肯定的な意見である。</li> <li>○ 廊下歩行やトイレのスリッパ並べ等、全体的によくなってきている。しかし、あいさつについては、声が小さかったり、自分からできなかつたりといった現状がある。来年度は学校全体で児童の適切な行動に目を向け、よさを認める積極的な生徒指導に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ルールを守ることは、これから大人に向かっていく子どもたちが最低限身につけなければなりません。学校での折に触れた指導、家庭への啓発等地道に進めるしかありません。</li> <li>○ 日々の生活において基本は「あいさつ」に始まります。自ら進んであいさつできる子供は、きまり、交通安全・マナー等についても守ることができます。</li> <li>○ あいさつの声が小さい、あいさつをしない、顔をふせてしまうなど消極的な気がします。交通マナーについては、良く守れていると思います。評価のとおりだと思います。</li> <li>○ 児童、保護者共に自己評価が高いので意識をして守っていると感じました。普段から意識をしているだけで身に付くと思いますので、今後も指導をお願いします。</li> <li>○ 今後ネットモラルが大変気になるところです。道徳教育のさらなる充実が大切だと考えます。</li> </ul>	
	<p>いじめ不登校対策委員会及び日常的な観察、情報共有をとおして児童理解を深め、いじめの早期発見、対応、100%解消を目指す。</p> <p>(3.5) (3.6) (3.1)</p>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師や児童の9割以上が肯定的な意見である。しかし、保護者の18.9%が否定的な意見もあり、認識の違いが大きい。</li> <li>○ 計画的に「いじめアンケート」を実施し、その後の教育相談の機会を確保しながら、児童の実態把握、いじめの早期発見、対応に努めることができたが、保護者への説明がたりなかった。</li> <li>○ あすなる委員会(いじめ不登校対策委員会)を実施することで、児童の実態、今後の対応等を全職員で共通理解することができた。</li> <li>○ いじめはどの教室でも起こりうるという考えのもと、「いじめの未然防止」「いじめの早期発見」「いじめの早期解決」を全職員で取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時々マスコミで話題になっている深刻な事態に至ったいじめの実態を学校が把握していない例が多い。難しいですが、頑張ってください。 保護者アンケートの「3」が若干気になる数字です。</li> <li>○ いじめや不登校の生起は家庭のしつけが良くなければ子どもに及ぼす影響は大です。学校側の問題ではなく、しっかりした家庭教育が必要です。</li> <li>○ 民生委員児童委員、主任児童委員は地域の身近な相談役なのですが、不登校等に関する事などで、保護者の方が孤立感を感じられない様何かお手伝いできる事はないのだろうか。</li> <li>○ いじめられていると感じている子ども、それを受けとめる親、どちらもとても苦しんでいると思います。不登校につながることも考えられ、一生が変わってしまうこともあるのでご指導宜しくをお願いします。</li> <li>○ 先生方が、子どもたちと話す時間をつくり、問題を解決するために努力していることがよくわかります。親は、子どもから聞くことが全てなので、先生方の評価と保護者の評価が違うのは残念です。</li> <li>○ 教師の取組の努力と児童・保護者の結果としての見方で評価に差が出たと考えております。難しい問題で先生方も大変ですが、引き続きお願いします。</li> <li>○ 今後ますます多様性の時代が予想されます。「みんなちがってみんないい。」という考えが大切だと思います。そして、「思いやりの心」と「想像力」の育成がとても大事だと思います。</li> </ul>	3

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
体力の向上と健康安全の推進	感染予防に留意しながら可能な限り運動量を確保した体育の授業を実施するとともに外遊びを奨励し、「外で遊ぶ」と答える児童80%以上を目指す。  (3.4) (3.6) (3.4)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校のコロナ対策については保護者と児童の9割以上が肯定的な意見である。</li> <li>○ 外遊びについては、保護者の20.7%が否定的な意見であり、原因としてコロナ感染状況により外で遊べない時期があったり、ゲーム等に依存したりする児童もいるのではないかと考えられる。</li> <li>○ コロナ禍において体育科学習における内容制限等があったが、水泳学習や運動会、持久走大会等の体育的行事も実施することができた。</li> <li>○ 昼休みの運動場使用制限や接触する運動の制限等の手立てをとりながら、外遊びの奨励を行ったが、教室で過ごす児童も少なくなかった。</li> <li>○ 来年度もコロナ感染対策の手立てを取りながら体育学習における運動量の確保及び外遊びの奨励をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供たちの危機管理意識は高まったようである。体力向上に関して学校アンケートの「4」の割合が低いのはコロナ禍で難しいこともあった結果ではないだろうか。コロナ以前でも昔に比べて外遊びをしない子供が多い気がする。遊び場がないことも原因であり、行政への働きかけも必要である。</li> <li>○ 子供たちの遊びについては年に変化が見られ「外で遊ぶ」子どもは少なくなっている。電子機器の発達に伴い家の中で遊ぶ子どもが増え歯止めがきかず難しい。従って体力向上は大きく望めない。</li> <li>○ 区内でも外で子どもたちが遊んでいる姿を見たり、声を聞いたりすることがとても少なくなっているなど感じています。さまざまな理由があると思いますが子どもたちが気軽に行ける公園が少ないのも理由のひとつかなと思います。</li> <li>○ 学校も家庭も、コロナの感染予防の意識がとても高いと思います。放課後の過ごし方を聞くと、体力低下の心配がありますが、昼休みを利用して動いている子もいるようなので、早く思いっきり遊べるといいなと思います。</li> <li>○ 学校、家庭でのコロナ対策は日々の生活の一部となってきたので、評価も高くなっていると感じます。引き続き宜しくお願いします。コロナで運動がしづらくなった状況にしては、児童、保護者は外遊びをしていると感じました。学校だけの取組では限界があると思いますので、家庭の取組に期待したいです。</li> <li>○ 新型コロナウイルスの感染症拡大の対策がしっかりなされている。児童の体力に2極化がみられるのではないのでしょうか。中学校も同様なので小中での取組を強化したい。</li> </ul>	4
	児童一人一人の状況(う歯・歯周病にあわせた保健指導を行い、歯科受診率70%以上を目指す。  (3.3) (3.6) (3.3)	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯磨きの習慣については、児童と保護者の認識の差がある。</li> <li>○ むし歯治療率は1月現在70%であり、養護教諭を中心に学級担任も保健指導や保護者への継続的な呼びかけを行ってきた。来年度も続けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者、児童へのさらなる啓発活動を進めるしかない。</li> <li>○ 学校・家とも歯みがきについては、保健指導と相まって良い結果である。</li> <li>○ 今の実際の歯科受診率がどれくらいかわかりませんが、保護者の意識や家庭の状況もあり指導は難しいだろうと想像しています。</li> <li>○ 声かけの重要性がわかりました。</li> <li>○ 児童と保護者の評価に少し差があるのが気になります。各家庭での習慣付けをしてほしいと感じます。</li> </ul>	

令和3年度 都城市立沖水小学校 学校評価書 No.4

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
地域に開かれた信頼される学校づくり	<p>学校運営協議会において学校の教育的課題を地域と共有し、ふるさと教育や見守り等の諸活動をとおして地域とともに課題解決を図る体制を構築する。</p> <p>(3.7) (－) (3.7)</p>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ感染状況のために、学校運営協議会を開き学校の教育的課題を共有することや、地域との連携した取組の難しかった。</li> <li>○ 課題と情報の共有を教育的課題に掲げているが、ホームページ、学校だより、学級通信だけではなく、生徒指導だよりや保健室だより、安心安全メール等で様々な情報を発信することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校と保護者の双方向の情報伝達共有が必要(場合によっては)</li> <li>○ 地域の特性に鑑み恵まれた環境にある本校にあっては、地域と一体となった教育と体験が可能でよい成果がでる。</li> <li>○ 文書を見せない子がいると思うので、PDF等検討していただきたいです。</li> <li>○ 学校と地域の繋がりは上手くできていると思います。今後も学校と地域が力を合わせて、子供たちを見守っていきたいと考えます。</li> <li>○ 大規模校において全家庭が安心安全メールの登録されているのはすごい。コロナ禍の中でのコミュニティスクールの推進(活動)は難しいものがあります。</li> </ul>	4
	<p>コンプライアンスに関して研修と指導を充実し、法令違反等の不祥事ゼロを目指す。</p> <p>(3.5) (－) (－)</p>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校からの情報発信をとおして学校の取組を理解していただくよう努めてきた。</li> <li>○ 交通取締情報を配付したり、週末メールを職員に配信したりしながら、注意喚起を図ってきた。来年度も職員同士で声をかけ合いながら法令順守に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師のモラルをしっかり保持すること</li> <li>○ 自己評価4が半数というのは少し気になりました。不祥事ゼロに努めるというのは常にもっておく必要があると思いました。</li> <li>○ 事件が取り上げられることが多いので、保護者も敏感なところだと思います。もう少し評価が上がるとういなと思います。</li> <li>○ 引き続き、研修と指導を宜しく願います。</li> </ul>	